

2012年  
「高校の進路指導・キャリア教育に関する調査」

# 引き続き「進路指導」の難しさと 動き出す「キャリア教育」

全国の高校にご協力いただき、2年に1度実施している  
小誌「高校の進路指導・キャリア教育に関する調査」。  
その2012年度版の結果をここに発表いたします。

進路指導を「難しい」と感じている先生は9割以上にのぼり、  
例年同様、厳しい状況が見受けられます。また、前回2010年度と同様、  
生徒の家庭の「家計面の悪化」がその大きな要因になっています。  
“家庭のことには口出しできない。しかし、それが生徒の進路選択を大きく左右している…”  
そんな、いかんともしがたい状況が、進路担当の先生方の悩みを深くしているように感じられます。

一方でキャリア教育は、その取り組みや理解が全国的に進み始めた様子が  
今回のデータに表れています。  
新学習指導要領で、すべての高校において「キャリア教育」の推進を求めていることや、  
学ぶ意欲、進路を選ぶ意欲に欠ける生徒を目の前にして  
「何かを始めなければならない」と考え、行動する先生が増えたということでしょうか。

高校生の望ましい進路選択をサポートしていくうえで、  
あるいは高校の進路指導の困難を少しでも軽減していくうえで、  
「キャリア教育」という概念のもと行われる教育改革が有効であるかどうか  
ここからの数年で、真に問われていくのではないのでしょうか。

調査・まとめ／株式会社アンド・ディ 構成／荒尾貴正(本誌編集デスク)



## 2012年「高校の進路指導・キャリア教育に関する調査」概要

- 調査対象／全国の全日制高校4898校の進路指導主事
- 調査期間／2012年10月15日～10月31日(11月5日分までを集計対象とした)
- 調査方法／郵送法
- 有効回答数／1179

### 回答者プロフィール

- 設置者別／国立3校(0.3%) 都道府県立821校(69.6%) 市町村区立55校(4.7%)  
私立294校(24.9%) 無回答6校(0.5%)
- 高校タイプ別／普通科単独校640校(54.3%) 普通科中心で学科併設校225校(19.1%)  
総合学科単独校68校(5.8%) 総合学科併設校15校(1.3%) 工業を中心とする高校68校(5.8%)  
商業を中心とする高校40校(3.4%) 家政を中心とする高校5校(0.4%)  
農業を中心とする高校24校(2.0%) その他56校(4.7%) 無回答38校(3.2%)
- 地域区分／北海道88校(7.5%) 東北122校(10.3%) 南関東204校(17.3%) 北関東73校(6.2%)  
甲信越63校(5.3%) 東海150校(12.7%) 北陸28校(2.4%) 関西156校(13.2%) 中国96校(8.1%)  
四国41校(3.5%) 九州・沖縄152校(12.9%) 無回答6校(0.5%)
- 回答者校務分掌／進路指導主事995人(84.4%) 進路指導担当140人(11.9%) 学年担当70人(5.9%)  
学年主任14人(1.2%) 校長0人(0.0%) 教頭(副校長)3人(0.3%)  
その他28人(2.4%) 無回答33人(2.8%) ※兼務の場合、複数回答
- 回答者平均年齢／48.05歳